R5年度 関東地区公立学校事務長会研究協議会群馬大会について

今回の研究協議会では、記念講演として、義肢装具士でスポーツ用義足作りの第一人者である臼井二美男氏に「障がい者スポーツと義肢装具の世界～だれもが自立するために～」というテーマで講演をしていただきました。

記念講演をどなたにさせていただくか、と考えたとき、本県出身でご活躍されている方で思い浮かんだのが臼井さんでした。以前TVや新聞等メディアで目にしており記憶に残っていた方で、ぜひと思って依頼したところ快く引き受けていただきました。そして相談していく中で義足を実際に使っている方にも同行していただけることとなり、イラストレーターの須川まきこさんにお話や身体の動きを実演していただくこととなりました。装着から歩行までを製作者とユーザーの掛け合いでの講演となり、特別支援教育にも通じ、また障がい者を理解する上で貴重なお話や細かな動きを拝見することができたのかなと思っています。

また、研究発表では、東京都・山梨県・茨城県から発表していただき、各都県の現状や取り組みについて知る機会となり、大変参考となりました。情報交換会では五つの議題を用意し、各パネリストから現状・課題について報告があり、会場の参加者からも意見をいただきました。ただ、一時間という限られた時間でしたので一つの議題にかける時間がやや不足していたのかなと思っています。

いずれにしても、参集しての講演や発表、情報交換会でのやりとりなど、昨年度の栃木県大会に引き続き、オンラインでは味わえない生の声・動き・空気感を感じていただきながら進めることができたことはよかったなと思っています。

前日の理事会・教育懇談会もそうですが、情報を共有し諸課題に対して解決へのヒントにつなげること、そしてコミュニケーションをとることなど、「ヨコのつながり」の大切さを感じることができました

群馬県会長 原澤